

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	睡眠時無呼吸症候群における診断とCPAP治療についての検討
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2010年1月から新潟大学医歯学総合病院で睡眠時無呼吸症候群の検査を受けた患者さん。
③ 概要	睡眠時無呼吸症候群は、睡眠検査で無呼吸低呼吸指数を測定することで、診断します。また、他疾患における薬物療法と異なり、持続気道陽圧換気（CPAP）装置を睡眠中に装着することで治療効果が得られます。CPAP 継続の可否を示すアクセプタンス、使用状況を示すアドヒアランスが重要となります。さらに、併存疾患による全身状態、無呼吸の病型も予後に影響を与えるため、SAS 患者の効果的な探索、健康寿命の延伸に寄与する効果的な医療体制が求められています。自覚症状、睡眠の質、睡眠サイクル、肥満、筋量、運動量、生活の質などが様々な因子がSASの重症度やCPAP治療に影響します。本研究の目的は、自覚症状、睡眠の質、睡眠サイクル、肥満、筋量、運動量、生活の質とSASの診断やCPAP治療の関係を明らかにすることで、実臨床におけるSASの診断とCPAP治療の有効性を高めることです。
④ 申請番号	2025-0215
⑤ 研究の目的・意義	睡眠時無呼吸症候群の効果的な診断やCPAP治療の有効性を高めるために、自覚症状、睡眠の質、睡眠サイクル、肥満、筋量、運動量、生活の質との関係について調査します。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2030年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに保存されている病歴、CPAP・PSGデータ、血液検査・CT検査・加速度計、新規イベントの情報を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、身体所見、既往歴、治療状況、職歴、主観的眠気アンケート）、血液検査・CT検査・加速度計結果、生理機能検査結果（PSG）、CPAP使用状況（設定、設定条件変更の状況、マスクの種類、加温加湿の有無、アドヒアランス、CPAP機種）、イベントの状況
⑨利用の範囲	新潟大学 呼吸器・感染症内科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 呼吸器・感染症内科 助教 大嶋 康義
⑪お問い合わせ先	新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 大嶋 康義

	Tel : 025-368-9325 E-mail : ohshima@med.niigata-u.ac.jp
--	--